

2022 年 10 月 15 日

粉体工学会  
『芸術と粉体工学に関するワークショップ』  
終了報告書

世話人 内藤 牧男

● 活動期間

2019 年度～2022 年度

● 概要

本ワークショップでは、芸術分野と粉体工学との情報交換と交流を促進し、粉体工学発展の課題を探るとともに、芸術分野の発展に貢献することを目的として活動を行った。具体的には、天然顔料の粉体プロセスと絵具、染料などに関する講演、実習などを中心に行い、多面的な交流を行った。

その結果、下記に示すように、美術館や寺院などでワークショップを開催し、異なる分野の会員相互の交流が行われるとともに、美術関係からの会員の入会も進んだ。さらに一般からも多数の参加者があり、粉体工学の市民への普及啓発が行われた。本ワークショップの活動は、非営利活動法人「富士山からはじまる天然顔料と粉砕の研究会」の設立（2021 年 9 月）につながり、2021 年度第 1 回研究会以降は、同法人とワークショップとが連携して、充実した活動を行った。

● 主な活動

2019 年度 第 1 回研究会（8 月 7 日・女子美術大学相模原キャンパス）講演と実習

第 2 回研究会（11 月 11 日・京都醍醐寺）講演、実習、醍醐寺見学

2020 年度 第 1 回研究会（11 月 6 日・山梨県立美術館）講演、実習、美術館見学

2021 年度 第 1 回研究会（8 月 6 日・新居浜市立美術館）講演、実習、美術館見学

第 2 回研究会（12 月 27 日・韮崎市民交流センター・山梨）

講演、韮崎大村美術館見学

2022 年度 第 1 回研究会（5 月 16 日・女子美術大学相模原キャンパス）講演と実習

● 今後の予定

まずは芸術と粉体工学との連携を図るという当初の目標は達成し、その理念をさらに発展させることを目指す新たな非営利活動法人も設立された。今後は、非営利活動法人と当学会との連携を基礎として、粉体工学と芸術分野との交流をさらに進めていきたい。

以上